

クラス番号	917	担当教員名	大濱 裕
テーマ	貧困・格差を生み出す国際社会経済システムと私たちの社会・暮らし		

## ゼミナール概要

目的： 私たちの社会や暮らしを方向付ける国際社会経済システムの仕組みを理解し、其処における問題・課題を克服してゆく具体的な理論的視点・枠組みや政策実践のあり方を、生活者・実践者の視点・立場から考える。

内容： 「グローバリズム（新自由主義）」が世界の隅々まで席卷する今日、第三世界（アジア・アフリカ・中南米諸国）・先進諸国を問わず多くの国・地域において貧困・格差問題の解決が緊急課題となってきた。私たちの暮らしや生活福祉の状況も、他の諸国と同様に次第に混迷の度を深めてきているのが実態であろう。同じ国際社会経済システムの下で暮らしている以上、他国の貧困や格差問題はとりもなおさず「私たちの問題」となるのが現代社会の偽らざる姿なのである。

このゼミでは、そうしたグローバル社会における社会経済的関係のあり方を「システム」として理解し、問題・課題の因って来る背景・原因を明確に理解し、更に、それらを私達の暮らしの中で克服してゆく途を共に考えてゆく。「Think Globally, Act Locally（地球的視点で考え、暮らしの場から行動しよう）」を実現してゆけるものの見方・捉え方、そして、実践的な行動の仕方を学んでみよう。

前期：第三世界における「食糧問題」に焦点をあて、貧困・飢餓の背景要因を「国際社会経済システム」と多国籍企業による支配から描き出す。

後期：今日の日本における諸問題（原発、安全保障、TPP、食糧自給、貧困、社会保障等）と上記システムとの関係を理解し、改善・解決への具体的方策と望ましい社会のあり方を考える。

方法： 学生諸君の「主体的な参加・協議・議論による自主活動」を基軸として学びを展開する。

- (1) 少人数グループによるサブゼミ活動（週2回程度）を基本とする。
- (2) 個人学習・サブゼミ学習・本ゼミ討議を「全員参加」で毎週実施する。
- (3) 学生諸君の理解・認識を深めてゆくために「グループ討議」を基本として進める。
- (4) 理解を深めるために、関連のAV/DVDを多面的に組み込んで学習を促進する。

### 担当教員からのメッセージ

福祉の専門家であること的前提は、「社会・人間」に対する広い理解と深い認識「にあります。それは私たちの日常における「真剣な学び」と「弛まぬ実践的経験」によって培われてゆくものです。其処で鍛えられてゆく「生活者」・「実践者」としての豊かな「資質」こそが、現代社会が直面する諸問題の改善・解決に国境・地域を越えて連携・協働してゆく人材に求められるものでしょう。そうした「専門家」を目指して共に語り、論じ、「我苦悶（学問）」の道を歩んでみようと云う熱い心をもった学生諸君、「ケジメ」を弁え大切に学生諸君の参加を期待しています。おいでませ！